1507871HM3908

MITSUBISHI ELECTRIC

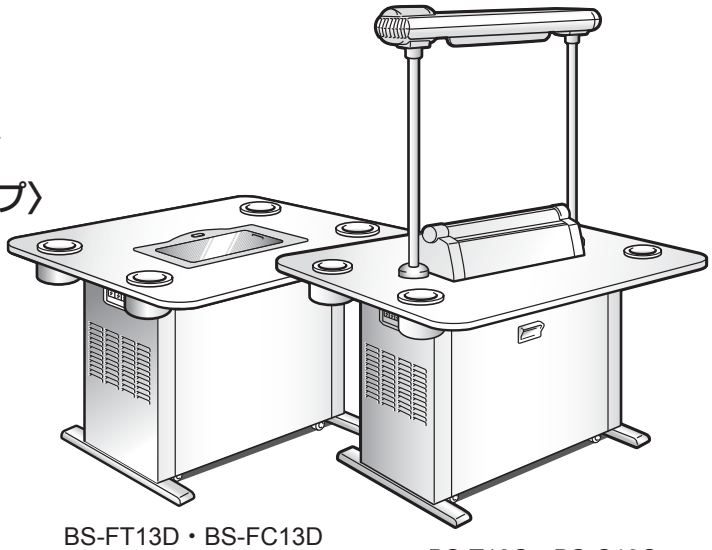
喫煙用集塵・脱臭機 スモークダッシュ®

形 名

BS-T13C〈テーブルタイプ〉
BS-C13C〈カウンタータイプ〉
BS-FT13D〈フラットテーブルタイプ〉
BS-FC13D〈フラットカウンタータイプ〉

据付工事・取扱説明書

据付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてお使いください。事務所等の喫煙コーナーへの据付けにより、周囲の環境改善に役立ちます。



BS-FT13D・BS-FC13D

BS-T13C・BS-C13C

工事店様へ

●据付工事は販売店・工事店様が実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。

据付場所の選定

次のような場所には据付けないでください

- ●空調設備の吹出口の近くなど風のあたる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿度の高いところ
- ●屋外

お客様へ

●この説明書をよくお読みになり正しくお使いください。とくに「安全のために必ず守ること」をご使用前に必ず読んで安全にお使いください。

●この説明書はお読みになった後、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管のうえ、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お役立てください。

●保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りになり説明書と共に保管してください。

もくじ

お客様へ 工事店様へ

ページ
安全のために必ず守ること…2〜3
各部のなまえとはたらき……4〜5
据付方法……6〜8

工事店様へ

ページ
同梱部品の確認……4〜5

お客様へ

ページ
使いかた……8〜9
お手入れ……9〜10
故障かな？と思ったら……11
アフターサービス……12
仕様……12

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

⚠注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりです。

禁止	分解禁止	接触禁止
水ぬれ禁止	水場使用禁止	
指示に従い必ず行う	電源プラグを抜く	アース線接続

工事店様へ

⚠警告

傾斜があったり、がたつきがある場所に据付けない

製品が動いたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

交流100Vを使用する

直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因になります。

改造しない

火災・感電・けがの原因になります。

製品に水をかけない

ショートや感電のおそれがあります。

アースを確実に取付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

⚠注意

テーブルの上に乗らない

落下・転倒等でけがをする原因になります。

テーブル板に水をかけない

テーブル板が吸水して変形するおそれがあります。

部品の取付けは確実に行う

部品の接触が悪く火災になるおそれがあります。

据付けの際は手袋を着用する

着用しないとけがの原因になります。

組立作業は必ず2人以上で行う

1人で行うとけがをするおそれがあります。

お客様へ

⚠警告

製品の近くで可燃性ガスを含むスプレー等を使用しない

火災のおそれがあります。

吸込口にタバコの灰や火の粉を入れない

火災の原因になります。

清掃時にプレフィルターを取りはずさない

変形して火の粉が入ると火災の原因になります。

プラズマユニットを水洗いしない

火災・感電の原因になります。

製品や本体内部に水をかけない

ショートや感電のおそれがあります。

改造や工具を必要とする分解はしない

火災・感電・けがの原因になります。

電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭く

火災の原因になります。

交流100Vを使用する

直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因になります。

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く

感電やけがをすることがあります。

アースを確実に取付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

⚠注意

フードの上に物を置かない

落下によりけがをすることがあります。

フードに手をかけない、テーブルに乗らない

けが（落下・転倒等）・故障をする原因になります。

プラズマユニットの電極をさわらない

けがの原因になります。

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

テーブル板に水をかけない

テーブル板が吸水して変形するおそれがあります。

お手入れ後、部品の取付けは確実に行う

部品の接触が悪く火災になるおそれがあります。

お手入れの際は手袋を着用する

着用しないとけがの原因になります。

換気をする

この製品は換気扇ではありません。タバコの煙のガス成分によっては除去できないものがあり、一酸化炭素等は除去できませんので、換気をしてください。

煙を吸い込まないなど異常がある場合は電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買上げの販売店に点検・修理を依頼する

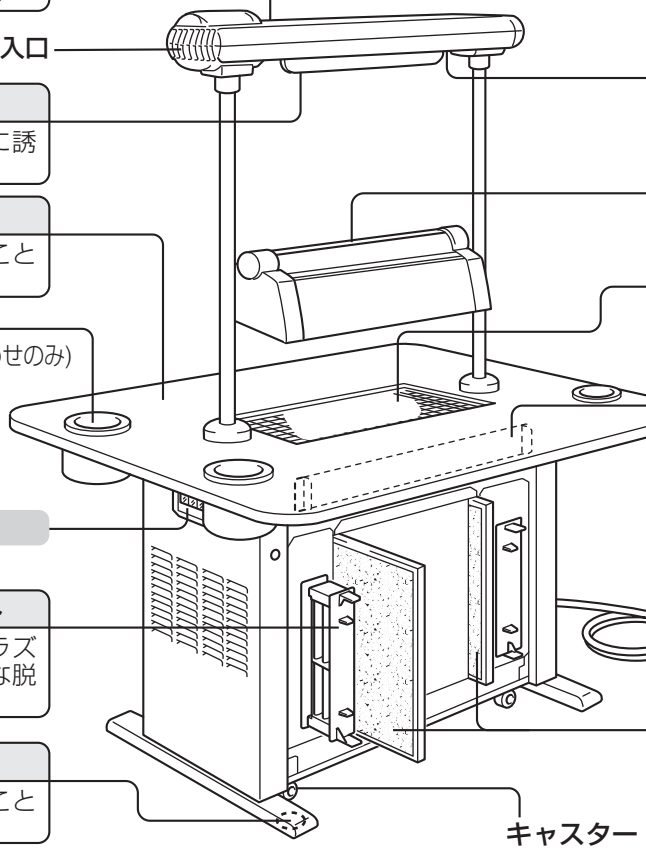
感電や漏電、ショートなどによる火災のおそれがあります。

電源プラグの抜き差しは電源プラグを持って行い、根元まで確実に差し込む

感電やショートして発火する原因になります。

お客様へ 工事店様へ 各部のなまえとはたらき

- 説明のため点検パネルは取りはずしています。
- 図はテーブルタイプを示します。



フ　ー　ド
煙を吸込口に誘導する

空気取入口

吹　出　口
風が出て煙を吸込口に誘導する

テーブル板
灰皿・書類等を置くことができる

灰　皿
(灰皿有テーブル板との組合わせのみ)

操作部・表示部

プラズマユニット
2つの電極がありプラズマ脱臭でスピーディな脱臭ができる

アジャスター
足を回して下げ出すことで本体を固定する

センサー感知窓
人感センサーで人の動きを感知する

吸　込　口
煙を吸込む

プレフィルター
大きなゴミやほこりを除去する

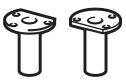
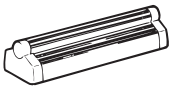
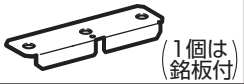
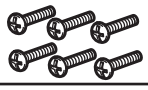
HEPAフィルター
高性能集塵フィルター
脱臭シートが貼付けてあり、脱臭効果もある
・HEPAフィルターは本体にセットされています

電源プラグ
同型のコンセントに差し込んで使用する

脱臭フィルター
特殊活性炭フィルターで脱臭効果がある

キャスター

工事店様へ 同梱部品の確認

フード……1個	パイプ……2本（短1，長1）	フランジカバー…2個	プレフィルター…1枚	脱臭フィルター……2枚
パイプフランジ(長)…2個 	パイプフランジ(短)…2個	吸込口……1個 	テーブル板固定カバー……2個  (1個は銘板付)	テーブルカバー……2個
吸込口固定ネジ……2本	パイプフランジ締付ネジ（長さ30）…6本 	プレフィルター固定ネジ（特殊ネジ･六角）…2本	プレフィルター固定ネジ用六角レンチ……1個	座金組込六角ボルト…4本
パイプ固定ネジ……6本（長さ12）				

包装箱を開梱するときは、カッターナイフ、ドライバー等で中の部品を傷付けないよう注意してください。

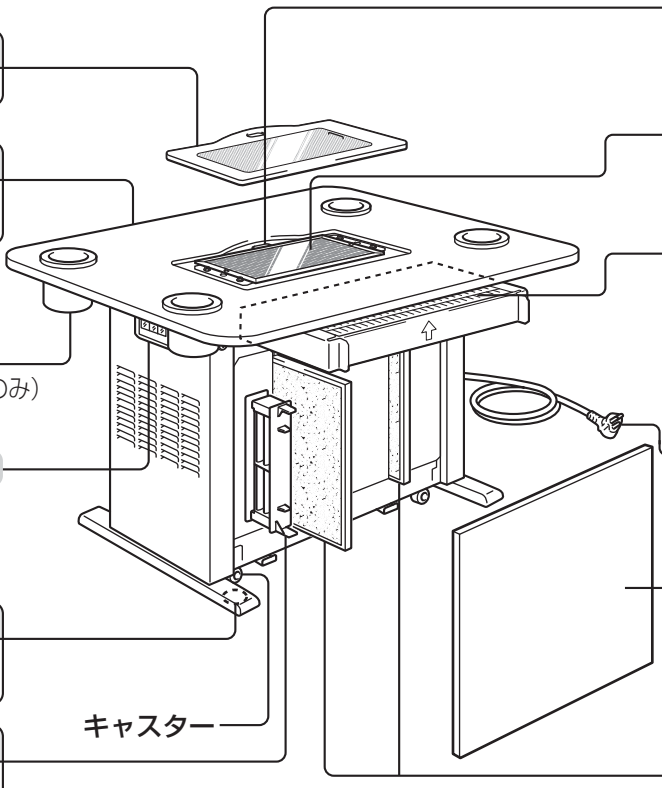
工事店様へ テーブル板は別売りです。据付工事を始める前に、下記のいずれかのテーブル板が準備されていることを確認してください。

別途手配部品〈テーブルタイプ・カウンタータイプ〉

商　品　名	形　名	商　品　名	形　名
幅60ホワイト（灰皿無）	BT-60C-W	幅90ホワイト（灰皿無）	BT-90C-W
幅60ホワイト（灰皿有）	BT-60AC-W	幅90ホワイト（灰皿有）	BT-90AC-W

お客様へ 工事店様へ 各部のなまえとはたらき

• 図はフラットテーブルタイプを示します。



吸込口カバー
煙を吸込む

テーブル板
灰皿・書類等を置くことができる

灰　皿
（灰皿有テーブル板との組合わせのみ）

操作部・表示部

アジャスター
足を回して下げ出すことで本体を固定する

プラズマユニット
2つの電極がありプラズマ脱臭でスピーディな脱臭ができる

キャスター

センサー感知窓
人感センサーで人の動きを感知する

プレフィルター
大きなゴミやほこりを除去する

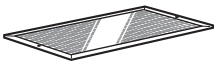
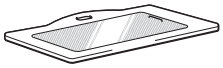
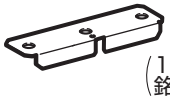
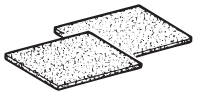
HEPAフィルター
高性能集塵フィルター
脱臭シートが貼付けてあり、脱臭効果もある
・HEPAフィルターは本体にセットされています

電源プラグ
同型のコンセントに差し込んで使用する

点検パネル
清掃、点検の時に開閉する

脱臭フィルター
特殊活性炭フィルターで脱臭効果がある

工事店様へ 同梱部品の確認

プレフィルター ……1枚 	吸込口カバー ……1枚 	テーブル板固定カバー ……2個  （1個は銘板付）	座金組込六角ボルト …4本 プレフィルター固定ネジ （特殊ネジ·六角）…2本	プレフィルター固定ネジ用六角レンチ…1個	脱臭フィルター ……2枚 

包装箱を開梱するときは、カッターナイフ、ドライバー等で中の部品を傷付けないよう注意してください。

工事店様へ テーブル板は別売りです。据付工事を始める前に、下記のいずれかのテーブル板が準備されていることを確認してください。

別途手配部品〈フラットタイプ〉

商　品　名	形　名	商　品　名	形　名
幅60ホワイト（灰皿無）	BT-F60D-W	幅90ホワイト（灰皿無）	BT-F90D-W
幅60ホワイト（灰皿有）	BT-F60AD-W	幅90ホワイト（灰皿有）	BT-F90AD-W

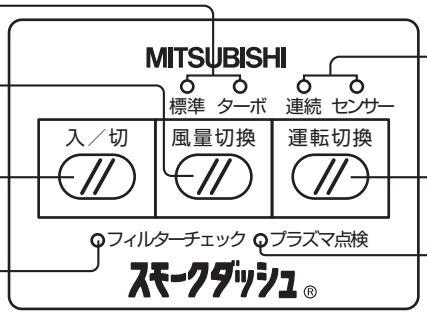
操作部・表示部　全ての機種に共通

風量表示ランプ
風量設定を示す

風量切換スイッチ
押すごとに風量が「標準」·「ターボ」と切り換わる

電源スイッチ
押すごとに「運転」·「停止」を繰り返す

フィルターチェックランプ
点滅時…HEPAフィルターの汚れ具合を見る（10ページ参照）



運転モード表示ランプ
運転モード設定状態を示す

運転モード切換スイッチ
押すごとに運転モードが「連続」→「センサー」と切換わる

プラズマ点検ランプ
点灯時…プラズマユニットの電極を清掃する（10ページ参照）
点滅時…異常

お客様へ
工事店様へ

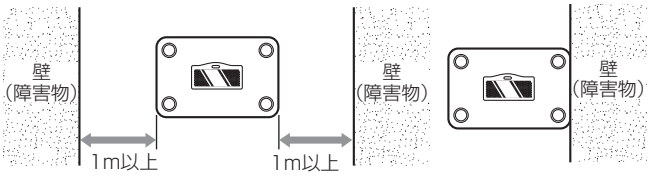
据付方法

※据付工事は工事店様が実施してください。
※図はテーブルタイプを示しますがカウンタータイプも同様に据付けてください。

効果的な捕煙のために

- エアコン等の送風機器の気流が喫煙者や本体にあたらないようにする。
- 風通しのよい通路脇や窓近くは避ける。(窓は閉まっていても、外部との温度差により気流を発生することがあるため)
- 吐出口側を向き合わせて複数台並べる場合は2m以上の間隔を取る。

- 吐出口と壁（障害物）との距離は1m以上離す。
  1m以上離すことができない場合は、吐出口を壁（障害物）に密着させて据付ける。



周囲（非喫煙ゾーン）への配慮のために

- 喫煙ゾーンと非喫煙ゾーンの境界を定め、パーティションやエアーカーテン等で仕切りを設けるとともに、空調・換気設備の風向きを考慮して、喫煙ゾーンから非喫煙ゾーンへのタバコ煙・においのもれを防ぐ。
- 喫煙ゾーンに換気扇（吸込み）など比較的大風量の排気を設けることでフロア全体として大きな気流が喫煙ゾーンに流れ、タバコ煙・においのもれを防ぐ。
- 捕煙されず拡散するタバコ煙を減少させるため、床面に捕煙範囲の限界を示すラインを引いたり、注意喚起表示を行う。
- 吐出気流が回りの人に直接当たらないようにレイアウトを工夫する。
- 据付場所の選定にあたっては特に非喫煙者に配慮し、不快感を与えないよう工夫して（喫煙している姿を目立ちにくくする、タバコに敏感な人の近くは避けるなど）、十分なコンセンサスを得ながら進めることが望ましい。

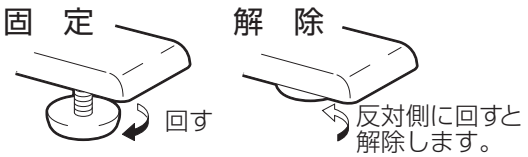
においの拡散を抑えるために

- フィルターはこまめに点検し、においが気になり始めたら早めに交換する。
- 本体外観や周囲の什器類等にこびりついたタバコ煙成分がにおいの発生源とならないよう、こまめに清掃する。

※ニコチン、タールによる汚れは水溶性のため、水拭きでも比較的容易に落ちます。

1 本体の固定

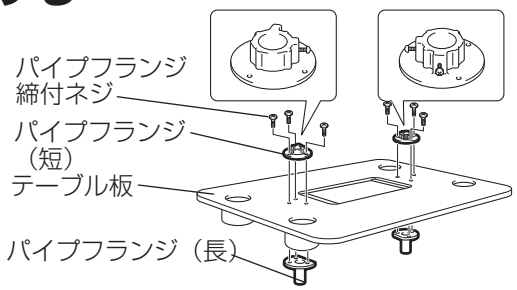
据付場所に本体を移動し、本体を固定するアジャスターが床に接するまで回して下げ、固定する。（4か所）



2 テーブル板にパイプフランジを取付ける

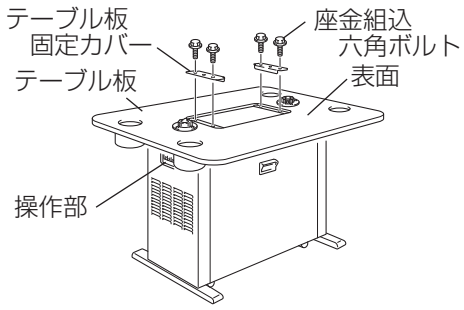
BS-FT13D・FC13Dでは必要ありません

1 テーブル板の表側（表面のなめらかな側）にパイプフランジ（短）をテーブル板の穴と合わせて置く。
2 テーブル板の裏側にパイプフランジ（長）をはめる。
3 パイプフランジ締付ネジをパイプフランジ（短）側から締め付け、テーブル板をはさんでパイプフランジを固定する。

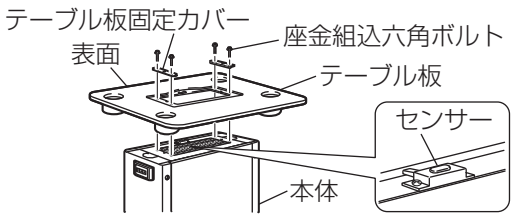


3 テーブル板の取付け

1 テーブル板の表面・裏面を確認する。
  ●パイプフランジ（短）が表面、（長）が裏面になります。
2 テーブル板を本体のネジ穴に合わせて置く。
3 テーブル板固定カバーをテーブル板の穴に合わせて置き、その上から座金組込六角ボルト（4本）を締め付け固定する。



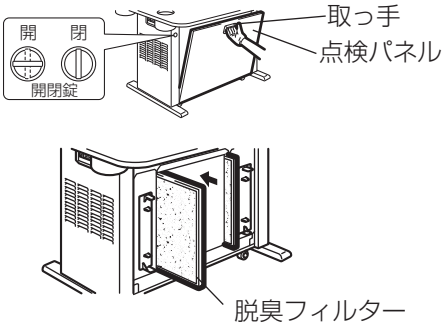
〈BS-FT13D・FC13Dの場合〉
上記の手順でテーブル板を座金組込六角ボルト（4本）で固定する。
テーブル板をネジ穴に合わせて置く時、センサー部に当てないようにご注意ください。



4 脱臭フィルターの取付け

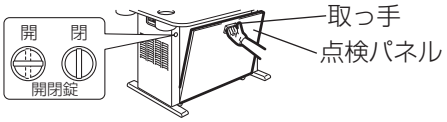
1 左右の開閉錠をコインなどで90°左に回し、点検パネルを持って手前に開ける。
2 脱臭フィルターを袋から取り出す。
3 本体の開口部奥につきあたるまで差し込む。
- ●このとき脱臭フィルターを傷つけないよう、ゆっくり差し込んでください。

※BS-FT13D・FC13Dには取っ手がありませんので点検パネルを支えながら開閉してください。



5 点検パネルを元通り取付ける

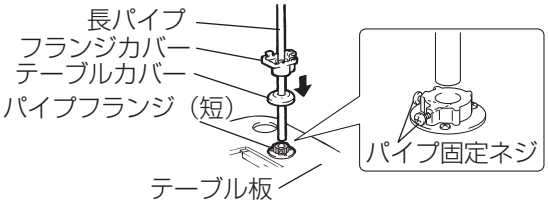
点検パネルの下側を差し込み、上側左右2か所の開閉錠をコインなどで90°右に回して固定する。



6 長パイプをテーブル板に取付ける

BS-FT13D・FC13Dでは必要ありません

1 パイプには長短があります。
（短パイプはフードの青色のふくらみがある側に使用）
2 長パイプをテーブル板のパイプフランジ（操作部の反対側）に奥まで差し込み、パイプ固定ネジ2本で固定する。
3 テーブルカバーを長パイプに下向きにして差し込む。
4 フランジカバーを長パイプにツメを上にして差し込む。

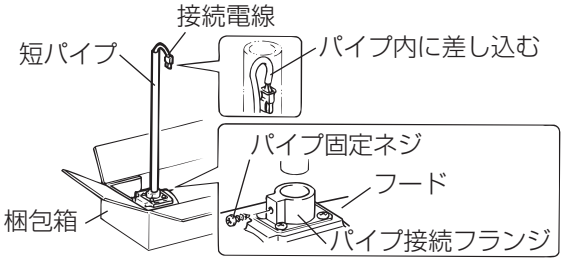


7 短パイプをフードに取付ける

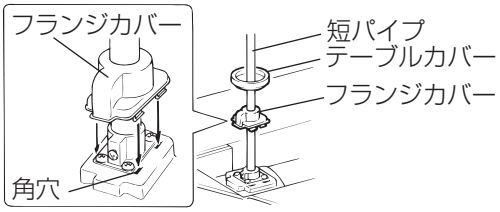
BS-FT13D・FC13Dでは必要ありません

フードへの傷付き防止のために作業は梱包箱の中で行ってください。

1 接続電線を短パイプに通す。
2 短パイプをパイプ接続フランジに差し込み、パイプ固定ネジで1か所固定する。
（飛び出した電線はパイプに差し込んでおく）



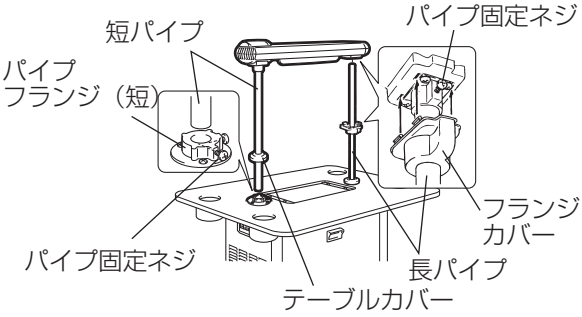
3 フランジカバーを短パイプに差し込みフードの穴にツメで固定する。
4 テーブルカバーを短パイプに上向き方向に差し込む。



8 フード取付け

BS-FT13D・FC13Dでは必要ありません

1 フードを持ち上げテーブル板の長パイプをフードのパイプ接続フランジに差し込み、同時に短パイプをテーブル板のパイプフランジ（短）に奥まで差し込む。
2 短パイプはテーブル側2か所、長パイプはフード側1か所をパイプ固定ネジで固定する。
3 長パイプのフランジカバーを持ち上げてフードの穴にツメで固定する。
4 短パイプのテーブルカバーをテーブル板まで下ろす。

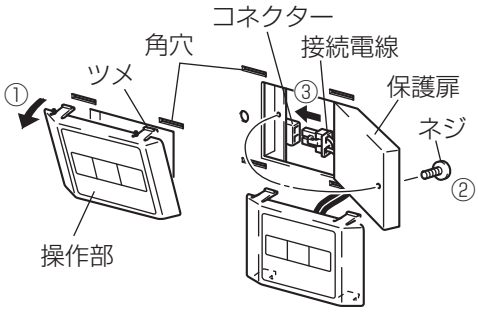


工事店様へ 据付方法（つづき）

9 電気接続

BS-FT13D・FC13Dでは必要ありません

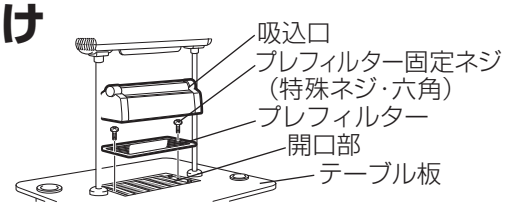
1 操作部の上側ツメを角穴から抜き、手前に引いて下側ツメをはずす。
2 ネジをはずし、保護扉を開ける。
3 短パイプに差し込んである接続電線を引き出し、本体のコネクターに確実に差し込む。
4 保護扉を閉じネジで固定する。
5 操作部の電線を保護扉の中に入れ、下側のツメをはめた後、上側のツメを角穴にはめ込む。
6 操作部を左にずらして閉じる。



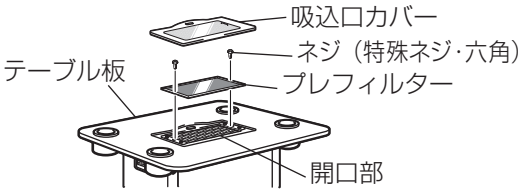
10 吸込口（または吸込口カバー）の取付け

1 プレフィルターをテーブル板開口部にのせ、付属のプレフィルター固定ネジ（2本）で固定する。固定には、付属の六角レンチをご使用ください。
2 吸込口をプレフィルターの上にかぶせる。

※付属の六角レンチはプレフィルター取付け後に廃却してください。



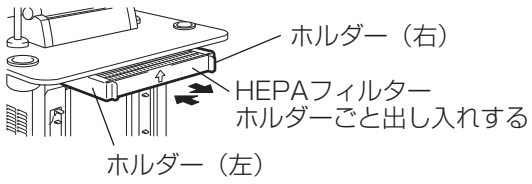
〈BS-FT13D・FC13Dの場合〉
上記手順でプレフィルターを固定し、吸込口カバーをテーブル板開口部にのせる。
※センサー部を傷つけないようご注意ください。
※吸込口カバーとセンサー部が合わない場合は、テーブル板の取付けで調整してください。

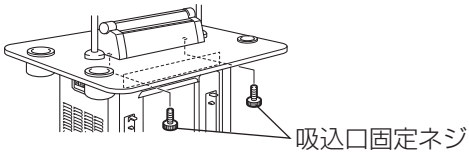


吸込口を固定する場合 BS-FT13D・FC13Dは固定できません

吸込口は、清掃時取りはずしができるよう固定しないでご使用ください。ただし、ご都合・ご要望によっては固定して使用することもできます。
（ただし清掃時は不便になります）

1 点検パネルを開き、HEPAフィルターを取り出す。
2 本体上面の穴と吸込口下面のネジ穴を合わせ（2か所）、本体内部から吸込口固定ネジ2本を締め付け、吸込口を固定する。
3 HEPAフィルターの上下を確認して元通り本体内に納める。
4 点検パネルを元通り取付け、左右の側面にある開閉錠を右に回して固定する。





11 電源プラグを差し込む

●同形のコンセントに電源プラグを差し込む。

お客様へ 使いかた

この製品では一酸化炭素（CO）は除去できません。また、この製品は医療用具ではありません。

使用上のお願い

- 吹出口や吸込口をふさがないでください。（機能低下）
- フィルター類やプラズマユニットをはずしたまま使用しないでください。（故障の原因）
- センサー感知窓に強い力を加えないでください。（破損の原因）
- 吸込口に水などをこぼしてしまったときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買上げの販売店にご相談ください。
- テーブルの上に立ち上がったり、踏み台がわりに使用しないでください。（けが・破損の原因）
- 製品を移動するときは、床の段差や溝に注意し転倒しないよう気をつけてください。（けが・破損の原因）

（お客様へ）使いかた

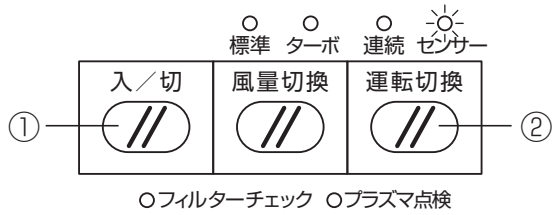
センサー運転と連続運転があります。お好みの運転を選んでください。

■センサー運転とは

センサーがタバコを吸う人を感知して、ターボ運転を開始する。人がいなくなった後3分間ターボ運転を続け、その後標準運転に切換わり、残りの残置運転※（下段参照）後自動的に停止する。

■センサー運転のしかた

①電源スイッチを「入」にする。
②運転モード切換スイッチを押し、「センサー」を選ぶ。

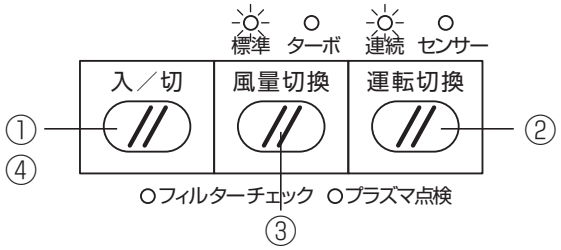


■連続運転とは

選んだ風量で運転し続ける。

■連続運転のしかた

①電源スイッチを「入」にする。
②運転モード切換スイッチを押し、「連続」を選ぶ。
③風量切換スイッチを押し、「ターボ」または「標準」を選ぶ。
④使用後電源スイッチを「切」にする。



電源スイッチを入れると運転モード・風量とも前回使用時（停止前）の設定で運転が始まります。

■残置運転時間の設定……運転スイッチ「切」の状態で行う。

時　間	ランプの状態		
切換わる → 5分	☼ 連続	○ センサー	「連続」のみ点滅
↓ 10分	○ 連続	☼ センサー	「センサー」のみ点滅
↓ 30分※	☼ 連続	☼ センサー	「連続」「センサー」が同時に点滅

※工場出荷時は30分に設定されています。
※残置運転時間（5分、10分、30分）は、3分間のターボ運転を含みます。

①運転モード切換スイッチと風量切換スイッチを同時に押す。
②運転モード表示ランプ2個が同時に点滅する。
③運転モード切換スイッチを押し、時間を設定する。（左図）
④電源スイッチを押す。（設定の確定と元に戻る）

■各種設定のリセットのしかた（工場出荷時の設定に戻す）……運転スイッチ「切」の状態で行う。

●運転モード切換スイッチ、風量切換スイッチ、電源スイッチの3つを同時に押す。

（お客様へ）お手入れ

この製品は空気中の粉塵やにおいを取り除き、機械内部に取り除いた粉塵やにおいを蓄積しますので、定期的なお手入れが必要です。お手入れをおこたりますと性能が低下し、故障や寿命低下をまねきます。

お手入れのめやす

清掃する部分	めやす（実施時期）	方　法
製品外観（フード、吸込口／吸込口カバー／センサー感知窓）含む	汚れた都度	中性洗剤を含ませたやわらかい布で汚れをふいた後、乾いた布でふきとる。（吸込口は持ち上げると簡単に取りはずせます）
プレフィルター	1週間～1か月ごと	プレフィルターは取りはずさず、掃除機などで汚れを吸い取る。吸込口が固定されている場合は、据付方法 10（P8）の「吸込口を固定する場合」を参考に吸込口固定ネジをはずして、吸込口を取りはずしてください。
空気取入口・吹出口	汚れた都度（1か月に1度）	掃除機などで汚れを吸いとる。
HEPAフィルター	フィルターチェックランプ点滅時または6か月に1度	表面の汚れがラベル（本体内のHEPAフィルター右直下）の色と同じくらいになったとき、お買上げの販売店から購入し交換する。
プラズマ電極	プラズマ点検ランプ点灯時または3～6か月に1度	電極の先端を歯ブラシなどで軽く払う。
脱臭フィルター	1年に1度（HEPAフィルター2回交換時に1度）	お買上げの販売店から購入し、交換する。

●交換時期や掃除の回数は、およそのめやすであり使用条件によって変わります。
●HEPAフィルター・脱臭フィルターは洗わないでください。洗っても効果は再生しません。

（お客様へ）お手入れ（つづき）

⚠警告

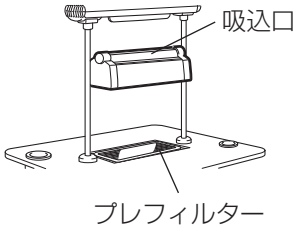
- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く（感電やけがをすることがあります）
- プレフィルターを本体から取りはずさない（変形して火の粉が入ると火災の原因になります）

⚠注意

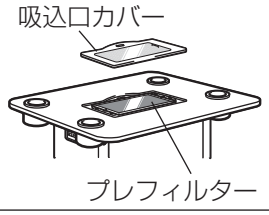
- お手入れの際は手袋を着用する（着用しないと金属等の端面でけがをすることがあります）
- お手入れ後の部品の取付けは確実に行う（部品の接触が悪く火災になるおそれがあります）

プレフィルターのお手入れ

1 吸込口・吸込口カバーをはずす。
2 プレフィルターを固定したまま、掃除機などでほこり等汚れを吸い取る。
3 吸込口・吸込口カバーを取付ける。

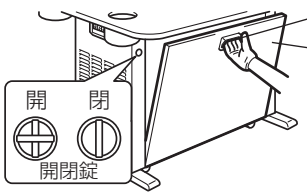


〈BS-FT13D・FC13Dの場合〉



点検パネルの開閉のしかた

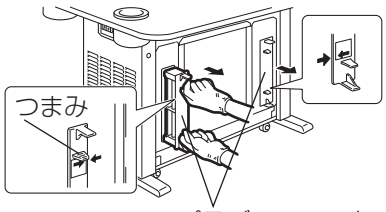
〈開ける時〉 左右の開閉錠をコインなどで90° 左に回し点検パネルを持って手前に開ける。
〈閉じる時〉 先に下側を引っ掛け、上側を閉め、左右の開閉錠をコインなどで90° 右に回し固定する。

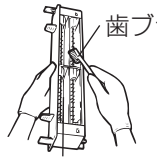


BS-FT13D・FC13Dには取っ手はありませんので点検パネルを支えながら開閉してください。

プラズマユニットのお手入れ

1 つまみを持ってプラズマユニットを手前にはずす。（2個）
2 電極先端のほこりを歯ブラシで軽く払う。
3 矢印の方向に注意して、元通り本体内にプラズマユニットを納める。





プラズマ電極（のこぎり歯状態のもの）
※電極に手で直接さわらない（けがの原因）

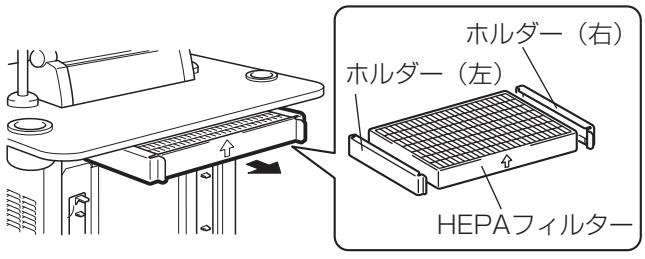
HEPAフィルターの交換

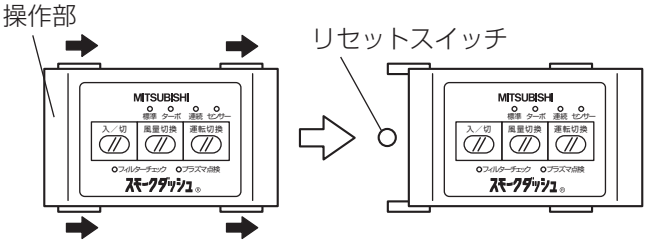
汚れがラベル（HEPAフィルター右直下）の色と同色程度になったとき交換してください。
フィルターチェックランプ点滅時にも点検し、汚れを確認してください。

1 左右のホルダーごとHEPAフィルターを引き出す。
2 左右のホルダーをはずす。
3 新しいHEPAフィルターの上下を確認し、左右のホルダーを付け、本体内に納める。
- 上下を間違えると本体内に納まりません。

4 点検パネルを閉じ、電源プラグをコンセントに差し込む。
5 操作部を右にずらして、中のリセットスイッチを押す。
- フィルターチェックランプが消灯します。
- 点滅していないときも同様のリセット操作をおこなってください。

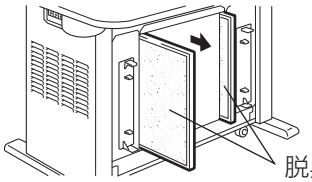
6 操作部を左にずらして閉じる。





脱臭フィルターの交換

1 脱臭フィルターを引き出す。
2 新しい脱臭フィルターを袋から取り出す。
3 新しい脱臭フィルターを本体開口部の奥にあたるまで差し込む。
●脱臭フィルターが傷つかないようゆっくりと差し込んでください。



（お客様へ）故障かな？と思ったら

■次の場合、下表に従って点検・処置してください。

症　状	原　因	処　置
全然運転しない	1.停電	通電されるまで待つ
	2.電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
	3.電源スイッチが「切」のままである	電源スイッチを「入」にする
	4.点検パネルが開いている	点検パネルを確実に閉める
	5.HEPAフィルターを取付けてない	HEPAフィルターを取付ける
	6.HEPAフィルターのホルダーを取付けてない	HEPAフィルターのホルダーをHEPAフィルターに付け本体内に取付ける
	7.センサー感知窓が汚れている	汚れをとる
吸い込み具合が悪く音が大きい	1.HEPAフィルターが目詰りしている	HEPAフィルターを交換する
	2.脱臭フィルターが目詰りしている	脱臭フィルターを交換する
	3.プレフィルターが目詰りしている	プレフィルターを掃除機などで清掃する
	4.空気取入口・吸込口が汚れている	掃除機などで清掃する
	5.脱臭フィルターが袋のまま取付けられている	袋から出し取付け直す
吹出口からにおいがする	1.プラズマ電極が汚れている	プラズマ電極を清掃する
	2.脱臭フィルターが寿命	脱臭フィルターを交換する
	3.製品各部が汚れている	フード、吸込口、吸込口カバー、プレフィルター、空気取入口、吹出口を清掃し、HEPAフィルターを交換する
本体の振動が大きい	1.不安定な場所に据付けられている	●据付場所を水平なところに移動する ●台などをあてがい本体を水平にする
	2.パイプを固定しているネジがゆるんでいる	確実に締め付け直す
プラズマ点検ランプが点灯する	プラズマ電極が汚れている	プラズマ電極を清掃する。清掃後、点検パネルを閉じて電源スイッチ・運転モード切換スイッチ・風量切換スイッチの3つを同時に押してリセットする。それでもすぐにプラズマ点検ランプが点灯するようならば、お買上げの販売店に修理を依頼する
プラズマ点検ランプが点滅する	故障です	お買上げの販売店に修理を依頼する
フィルターチェックランプが点滅する	HEPAフィルターが汚れている （運転時間約1,000時間で点滅する）	ラベルの色と同じくらいであればHEPAフィルターを交換する。交換後、操作部をずらしリセットスイッチを押す（10ページ参照）

■次の現象は故障ではありません

現　象	理　由
プラズマ脱臭時にかすかに「シュー」という音やオゾンの臭いがする	プラズマ脱臭中はかすかな音やオゾン臭がする場合があります。 （音の大きさやオゾン臭は使用する環境により、変化します。 発生するオゾンは低濃度で人体に害はありません）
通りがかっただけで運転を開始し、約10秒間で停止する	回路の特性によるものであり、故障ではありません。

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、
必ず電源プラグを抜いてからお買上げの販売店にご相談ください。

アフターサービス

三菱 スモークダッシュ® のアフターサービスはお買上げの販売店にお申し付けください。

保証書（別添付）

■保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。

■内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

保証期間
お買上げ日から1年間です。
（HEPAフィルター・脱臭フィルターは消耗品です）

補修用性能部品の保有期間

■当社は、この スモークダッシュ® の補修用性能部品を製造打切り後、7年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

メンテナンス契約のおすすめ

■お買上げの販売店または下記とメンテナンス契約を結ばれますと、定期的にメンテナンスを実施します。
フィルター交換等も便利です。

定期メンテナンスに関わるお問い合わせ先
三菱電機システムサービス

北海道支店 北海道札幌市厚別区大谷地東2-1-18…☎011-890-7524
北日本支社 宮城県仙台市宮城野区福室字明神西31…☎022-353-7812
東京商品支社 東京都世田谷区池尻3-10-3…☎03-5431-7729
中 部 支 社 愛知県名古屋市東区矢田南5-1-14…☎052-721-0138
関 西 支 社 大阪府大阪市北区大淀中1-4-13…☎06-6454-3917
中四国支社 広島県広島市南区大州4-3-26…☎082-281-4181
九 州 支 社 福岡県福岡市博多区東比恵3-12-16…☎092-483-8205

※電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

交換用フィルターに関するお問い合わせ

■お買上げの販売店または下記へ

〒508-8666　岐阜県中津川市駒場町1番3号
三菱電機株式会社　中津川製作所　電話　0573-66-8219

仕　様

形　名	BS-T13C		BS-C13C		BS-FT13D		BS-FC13D	
電　源	100V　50/60Hz							
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
消費電力（W）	標準　125 ターボ　150	標準　145 ターボ　210	標準　125 ターボ　150	標準　145 ターボ　210	標準　125 ターボ　145	標準　145 ターボ　205	標準　125 ターボ　145	標準　145 ターボ　205
処理風量（m^3/min）	標準　8 ターボ　12	標準　7 ターボ　13	標準　8 ターボ　12	標準　7 ターボ　13	標準　8 ターボ　12	標準　7 ターボ　13	標準　8 ターボ　12	標準　7 ターボ　13
騒　音（dB）	標準　36 ターボ　42	標準　34 ターボ　42	標準　34 ターボ　39.5		標準　36 ターボ　42	標準　34 ターボ　42	標準　34 ターボ　39.5	
集塵方式	HEPAフィルター(脱臭シート付)							
集塵効率（%）	99.97（計数法0.3μm）標準時							
脱臭方式	プラズマ脱臭・特殊活性炭フィルター・脱臭シート							
脱臭効率（%）	一過性効率70/循環系効率99（25分）標準時							
外形寸法（mm）（テーブル板取付時）	幅	奥行き		高さ	幅	奥行き		高さ
	1200	900※1	600※2	1513（BS-T13C） 1813（BS-C13C）	1200	900※3	600※4	700（BS-FT13D） 1000（BS-FC13D）
質　量（kg）	約52		約61		約46		約54	
電源コード	3m（アース付3芯プラグ）							

※1：BT−90装着時　※2：BT−60装着時　※3：BT−F90装着時　※4：BT−F60装着時

お客様メモ サービスを依頼されるとき便利です。		
	形　名	
	お買上げ年月日	年　月　日
	お買上げ店名 （住　所） （電話番号）	（　）

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。